

経済指標ウォッチャー

4月機械受注統計 2カ月連続で前月を上回る

経済活動の早期正常化期待から設備投資は徐々に増加する見込み

機械受注統計とは？

内閣府が、毎月10日頃に公表する統計。各企業が製造企業に対し設備用機械を発注した時点で設備投資にカウントされるため、機械等製造業者の1ヵ月間の受注状況を調査することで、企業の設備投資動向の早期把握が可能となる。船舶・電力の受注は、景気との相関性が低く、月ごとの振れが大きいいため、一般的に『船舶・電力を除く民需』ベースの数字が重要視されている。

4月は製造業の受注額の増加が目立つ

内閣府が16日に公表した、2021年4月の機械受注統計によると、機械受注総額（船舶・電力を除く民需、季節調整済み）は、前月比0.6%増の8,029億円となりました（図表1）。2021年1月から3月にかけて実施された2回目の緊急事態宣言が解除されたことや、米国をはじめとした海外の景気回復が進んでいることから、非鉄金属業やはん用・生産用機械業などの製造業の受注額が前月比で増加しました。

業種別の受注額は、製造業が、同10.9%増の3,796億円、非製造業が、同11.0%減の4,119億円となりました。製造業では17業種のうち10業種が増加しました。非製造業でも12業種のうち7業種が増加したものの、運輸業・郵便業が大きく減少したことが影響し、総額では減少しました。

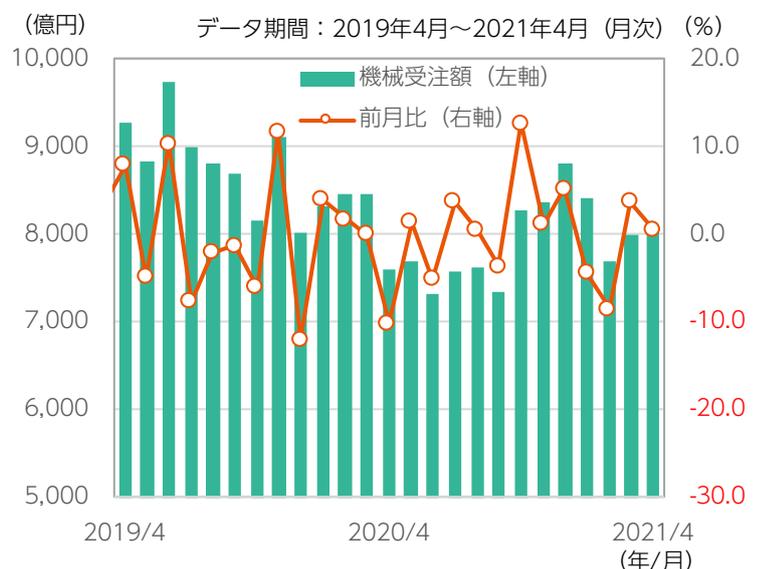
経済活動正常化期待が設備投資増加を後押し

4月の機械受注総額は2ヵ月連続の増加となったものの、内閣府は基調判断を『持ち直しの動きに足踏みがみられる』に据え置きました。機械受注総額は2回目の緊急事態宣言発令前の2020年10～12月期の水準まで回復していないこともあり、慎重な判断がされたものとみられます。

先送りされていた需要が一時的に増加したことなどから2020年10～12月期の設備投資額は、前期比でプラスとなったものの、2021年1～3月期は2回目の緊急事態宣言発令などの影響もあり再び前期比でマイナスとなりました（図表2）。

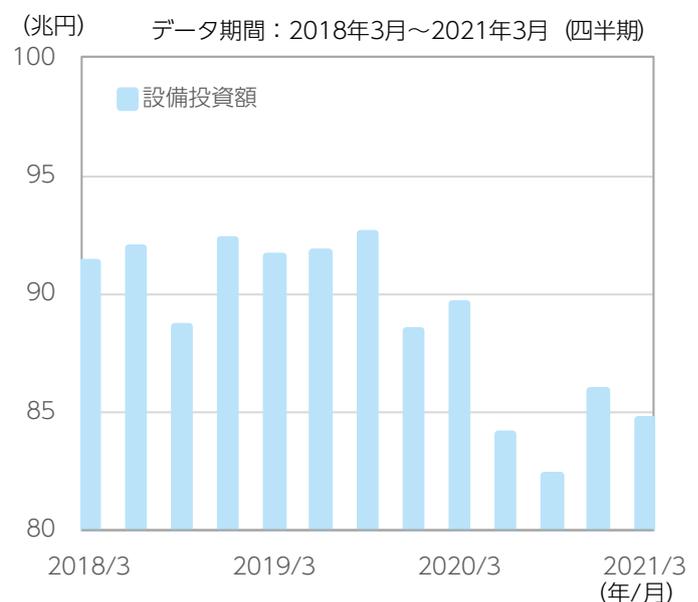
足元では国内のワクチン接種が急速に進展しており、経済活動の早期の正常化も期待されます。順調にワクチン接種が進展すれば、経済活動の正常化期待から企業が設備投資を徐々に増加させ、機械受注額も緩やかに増加していくことが想定されます。

図表1：機械受注総額の推移



※機械受注総額（船舶・電力を除く民需）と増減率の推移

図表2：設備投資額の推移



※設備投資の推移（国民経済計算（GDP統計）より抜粋）

出所) 図表1、2は内閣府のデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>